

あとがき

高速画像処理や大規模データベース、AIなどの進歩により近年、生体認証システムがどんどん一般化してきています。スマホやパソコンなどではログインに指紋認証や顔認証を利用することが当たり前になっており、多くの製品に搭載されてきています。またインドでは虹彩認証、顔認証、指紋認証を含む生体認証IDが普及し、本人認証、キャッシュレス決済、補助金給付などにも使われているそうですし、その他、虹彩認証はシンガポールではパスポートに、中国でもキャッシュレス決済などに広く利用されているとのことです。さらに網膜血管走行認識による生体認証も非常に精度が高いとされ研究が続けられています。眼科関係者として角膜外傷が起きたり網膜中心静脈分枝閉塞症が起きたらどうすると素朴な疑問を抱くこともありますが、アベンジャーズのフューリー長官のように網膜認証が不可なら虹彩認証、それも駄目なら自動的に前眼部認証に即座に変化させて対応することも技術的には容易でしょう。

これらのさまざまな生体認証システムの内、特に顔認証が、その画像取得の容易性から利用される場面が多くなってきています。中国では顔認証カメラが普及し、国家レベルはもちろん、民間レベルでもかなりの範囲で顧客管理として実際に使われているようですし、日本でも警察が利用を始めています。昨今の新型コロナウイルス禍によるマスク普及により、また状況は変化するとは思いますが、さらに一般化していく可能性は高いでしょう。一方で、これらの生体認証システム利用による個人情報保護に関する関心も高まっており、米国ではニューヨーク州、マサチューセッツ州など多くの州で規制する動きが出ています。眞鍋洋一先生による「診察券いらずの顔認証カメラシステム」論文は眼科外来診療への市販されている顔認証カメラの応用の報告であり、手軽に入手できる民生品による顔認証の認識率が100%であったと報告されています。これがよいことであるのか、憂慮すべきことであるのかに関しては議論があるとは思いますが、技術の進歩とその普及は驚くべき速度で進行しており、われわれも常にそれをfollowしていかなければいけないことが実感されます。(鈴木康之)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅養三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭	寺崎浩子	中澤 満	下村嘉一		
編集委員	坂本泰二	鈴木康之	稲谷 大	井上幸次	堀 裕一	西口康二	

臨床眼科 (第75巻 第6号)

2021年6月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価 3,080 円 (本体 2,800 円+税 10%)

(2021 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料弊社負担))
冊子版 44,154 円
電子版 (個人) 44,154 円
冊子+電子版 (個人) 49,654 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株) 文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2021, Printed in Japan.
- 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- 【JCOPY】<出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- *「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・松井・安部